

こども未来部長目標（令和7年度組織目標）

● こども未来部長 市来 広美（いちき ひろみ）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 3すべての人に健康と福祉を
- 4質の高い教育をみんなに
- 10人や国の不平等をなくそう



● こども未来部の仕事

こども未来部は、こども政策課、こども支援課、こども福祉課、青少年課、保育幼稚園課、こども家庭センターの6課で構成され、子育て家庭への経済的支援、母子保健・子育てに関する相談、放課後児童対策、保育園・幼稚園等に関すること、就学前の障害児が通う施設及びこども支援センターの運営などを行っています。

● こども未来部の目標

こどもを中心としたまちづくりを進めていくため、こどもの視点に立ち、こどもの幸せを第一に考え、「所沢市こども計画」に基づき、親子の絆を深める切れ目のない子育て支援、特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭の支援、保育園や児童クラブの待機児童対策、こども・若者の育成支援などを進めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	切れ目のない子育て支援に関する事業	子育てに関する孤立感や負担感の軽減のため、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援や、関係機関と連携しながら、特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭を支援します。	妊産婦、0歳から18歳未満の児童、保護者及び関係者等から寄せられる、多岐に渡る相談に対応するとともに、家事等に対して負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等の家庭を支援員が訪問し、家事等の支援を実施することにより家庭や養育環境を整えます。	
2	子育て環境の整備に関する事業	すべてのこどもが地域の中で安心して過ごし、健やかに成長できる環境づくりを進めます。	放課後児童クラブの狭小化や大規模化等を解消するため、学校施設の活用などにより、定員を拡大するとともに、入所申込みの結果保留となった児童に対し、夏季休業期間に安全・安心な居場所を提供する事業を新たに実施します。	
3	こども・若者の育成支援に関する事業	こども・若者にとって安全で安心な居場所づくりを進めます。	中高生世代のこどもたちに、更に児童館に親しんでいただけるよう、児童館の愛称を年度内に決定し、多くの方々に利用いただけるよう工夫します。 また、所沢市LINE公式アカウント「こども・若者情報チャンネル」を活用し、若者の居場所づくりにつながる情報を配信します。	